

「平成17年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰の受賞について ～「サルファーフリーガソリンの製造販売・技術開発」が「技術開発・製品化部門」で表彰～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、「サルファーフリーガソリンの製造販売並びにガソリン脱硫技術の開発」の実績に対し、平成17年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞しましたのでお知らせいたします。

「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」とは、地球温暖化対策を推進する取り組みの一環として、環境省が1998年度から毎年度、地球温暖化防止活動に顕著な功績のあった団体に対し、その功績を称えるために行っている表彰です。授賞式は12月15日、KKRホテル東京(東京都千代田区)で行われる予定です。

当社は、サルファーフリーガソリンを製造するための効率的な水素化脱硫技術を独自に開発し、唯一国産技術として実用化しました。また、燃費に優れかつ排ガスがクリーンなガソリン自動車の普及に不可欠となるサルファーフリーガソリン(硫黄分10ppm以下)を世界に先駆けて製造・販売し、二酸化炭素排出削減に貢献しました。今回、これら業績を高く評価いただき、同表彰の「技術開発・製品化部門」において受賞したものです。

当社は、行動規範として「Environmental harmony(地球環境との調和)」を掲げています。京都議定書の第一約束期間を目前に控え、ガソリンだけでなく軽油も含めたサルファーフリーを維持するのは無論のこと、一段と地球環境保全に寄与する自動車用燃料の開発・製品化に挑戦し続けることで、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指してまいります。

以上

資料

サルファーフリーガソリンに関する新日本石油の取り組み

ハイオクガソリンについては、2002年4月に大都市圏(関東・関西)において、サルファーフリー(硫黄分10ppm以下)を保証した「ENEOS ヴィーゴ」を発売、2003年11月には全国展開を完了しました。

この取り組みはガソリン中の硫黄分に関する国の規制(2008年)より6年、石油業界による自主的取組(2005年)※1より3年早いばかりか、国が規制を決める(2003年8月)よりも早いものであり、国内外のサルファーフリー化への動きを牽引、加速してきました。また、「ENEOSヴィーゴ」にはサルファーフリーに加えて、国内のガソリンで唯一、ピストンなどエンジン内部の摩擦を減少させる摩擦低減剤を配合しており、さらなる燃費向上(=CO₂削減)を図っています。

レギュラーガソリンのサルファーフリー化については、当社独自に開発した、分解ガソリン(高オクタン価ガソリン基材)の水素化脱硫技術である「ROK-Finer」プロセス※2を用いて、2005年1月※1より全国供給を開始しました。ROK-Finerプロセスは、レギュラーガソリンのサルファーフリー化への障害であった、従来の水素化脱硫による「分解ガソリンのオクタン価の低下」という欠点を最小限に抑えることができる非常に高効率な脱硫技術です。この技術は、国産で唯一商業化された分解ガソリンの水素化脱硫技術で、国際的な評価も高く、海外への特許ライセンスをしている世界最先端の技術です。

なお、当社は今回の受賞対象となった2002年4月のハイオクガソリン「ENEOS ヴィーゴ」の発売の後、2005年1月には、「ENEOS ヴィーゴ」の特徴である「サルファーフリーの保証」と「摩擦調整剤の配合」に加えて、「国内最先端の清浄性能(自動車排ガスのさらなるクリーン化)」を実現した環境対応ハイオクガソリン「ENEOSNEW ヴィーゴ」の販売を開始しました。

※1 2005年1月からは石油業界全体でもサルファーフリー化を進めることになりました。

※2 本プロセス開発の一部は、経済産業省の補助金により、財団法人石油産業活性化センターの技術開発事業として実施しました。

